

# 学校だより

明るく 元気に たくましく

平成30年5月31日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101 E-mail : [yougo-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yougo-s@e.city.hiroshima.jp)

FAX 082-250-7102

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



満開のツツジと安芸の小富士をバックに気持ち良く  
屋上での朝の「体力づくり」

短夜の季節となり、日差しはすっかり夏を思わせます。保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

これから梅雨に入り、気温や湿度の上昇とともに熱中症や食中毒等、体調を崩しやすい時期を迎えます。児童生徒と共に私たち大人も食事や睡眠時間をしっかりととり、規則正しい生活に心掛けたいものです。また、大雨等に対しても細心の注意を払っていく必要があります。児童生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、職員一同きめ細やかな配慮をしてまいりますので、御家庭におかれましては十分気を付けていただきますようよろしくお願いいたします。可能な限り学校メール連絡網にも加入していただき、緊急連絡体制の確認をよろしくお願いいたします。

6月7日(木)9時50分から14時10分まで(予備日6月12日)に高等部体育祭を挙行政します。小・中学部の保護者の皆様方にも御来校いただき、温かい御声援を送っていただきますようよろしくお願いいたします。

## □ 定期健康診断

4月から毎日のように定期健康診断が行われています。長く学校医として児童生徒・教職員の健康の保持・増進、健康管理に御尽力いただいた牛尾剛士先生が体調を崩され職を辞されることとなり、今年度より森美喜夫先生(南区医師会会長 もり小児科院長 南区翠二丁目)が学校医(内科担当)として務めていただくことになりました。森先生を始め、各校医の先生方には子どもたちの障害特性を理解し、温かい言葉を掛けていただきながら懇切丁寧に検診をしていただき、大変お世話になっています。この健康診断は学校教育法第12条の学校保健安全法で6月30日までに実施することとなっています。児童生徒の検診においては、絵カードや写真カード、補助具等を活用しながら受診に対する心構えや方法等の事前学習を周到に行うことで、見通しをもって検診に臨んだり、健康に対する意識を高めたりできるよう努めています。

なお、保護者の皆様には検診の結果はその都度お知らせしますので、所見があった場合はできるだけ早めの受診をよろしくお願いいたします。



(内科検診)



(眼科検診)



(歯科検診)



(心電図検査)



手順表の例→

## □ ともはと号来校



借りた本を大切に抱えて

5月11日(金)、広島市立中央図書館の移動図書館ともはと号が今年度初来校しました。本校の読書活動推進や図書コーナーの多くの書物の分類・整理に大きな力をいただいています。子どもたちは、ともはと号の来校を心待ちにしており、選んだ本を大事そうに抱えてスタッフの方のところへ持って行き、緊張しながらも順番とルールを守って借りる手続きを行っていました。ともはと号は読書活動の推進だけでなく、校内で貴重な社会的な体験ができる素晴らしい学習機会となっています。また、昨年1月から行われている広島市映像文化ライブラリースタッフによる16mm映画の上映会もあり、多くの児童生徒がプレイルーム1・2に集まり、映像を楽しんでいました。広島市立中央図書館、広島市映像文化ライブラリーのスタッフの皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

## □ PTA総会開催

5月17日(木)に平成30年度PTA総会を開催しました。お忙しい中、136名の保護者の方に御参会いただきました。総会におきまして、平成29年度事業報告、会計報告、平成30年度の事業計画、予算案は全て承認されました。総会を欠席された方は、お配りしております総会資料を御覧ください。これまで旧役員の皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

その後、「本校における子どもたちの学び～適切な指導と必要な支援～」と題して私の講演の時間もいただきました。「子どもたちは限りない力をもっている。子どもたちが主体的に授業や活動に取り組めるように専門性の向上に努め、子どもたちの力を最大限に伸ばす適切な指導と必要な支援を行っていく。昨年度の体罰事案を深く反省し、保護者・関係者の皆様の信頼の回復に、全教職員が一丸となって取り組んでいく。」決意を述べさせていただきました。昨年度に引き続き、久保新会長を始め今年度からお世話になります新役員の皆様、今後ともPTA活動の充実に向け、お力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

この日は制服リサイクル展示も行いました。不要になった制服や体操服を職業コースのクリーニングサービス班が綺麗にクリーニングしサイズ表示した物を御希望の方にお譲りしました。提供していただいた皆様、ありがとうございました。



久保会長を始め新役員の力強い御挨拶



制服リサイクル展示

□ 避難訓練（地震）



頭を守る児童

5月16日（水）、地震・津波を想定しての避難訓練を実施しました。本部を事務室に設置し、迅速な情報収集を行った後屋上への避難を指示しました。消防署への通報、初期消火、逃げ遅れた児童生徒の確認等も本番さながらに行いました。その後、児童生徒の心身の安全確保のために二次避難として校舎3階部分に学部ごとに避難をしました。避難訓練が苦手な児童生徒が多い中、「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」を守って落ち着いて避難することができました。南海トラフ巨大地震、安芸灘～伊予灘～豊後水道地震、安芸灘断層群による地震被害想定は、南区で最大震度6弱、液状化は66.3%、津波浸水は47.0%（ともに面積割合）に及び、津波の高さは最高で1.5m（海拔3.6m）となっています。

本校は海底30m程の岩盤に長さ38m、332本の杭が深々と打ち込まれて校舎は支えられています。液状化は起こっても建物が倒壊することはありません。また、地上から本校3階床までの高さは7.7mですので3階への避難により津波を確実に避けることができます。今後は備蓄物品の補充や、2次避難後の3次避難や情報収集や連絡体制の充実に向けての取組を進めるとともに、常に危機意識をもち、適切な判断ができるようにしていきたいと考えています。

□ 高等部生徒会「あいさつ運動」

5月14日（月）～5月18日（金）の間、高等部生徒会役員を中心に朝の挨拶運動が行われました。「おはようございます。」と大きな声で朝の挨拶をする高等部の生徒に負けず、小学部・中学部の児童生徒も大きな声や動作、表情などで挨拶を返していました。挨拶は魔法の言葉です。元気のいい明るい挨拶は、笑顔の輪を広げ、周囲の雰囲気をも明るくして、穏やかで思い遣りの気持ちをもって人と接することができます。

学級でも常日頃からキャリア学習や日常生活の指導、自立活動を中心にして挨拶の指導を行っています。私たち大人も児童生徒の模範となるような挨拶を心掛けていきたいと思ひます。



笑顔で相手の目を見て明るい挨拶をする生徒会生徒

□ 水泳指導スタート

本年度のプール開きは小学部第5学年→

5月11日（金）から水泳指導が始まりました。待ちに待っていた児童生徒も多く、プールの中至る所から水しぶきと歓声が挙がり活気にあふれています。水温と室温は年間を通じて30℃前後に設定しています。水泳の指導は、安全と健康管理に十分に留意しながら11月9日（金）まで行います。



□ 復興の花「カンナ」～広島から日本、そして世界へ～

広島原爆投下から1か月で咲き、広島復興を勇気付けた真っ赤なカンナを平和の象徴として後世に伝え、カンナの花を、『平和のバトン』として世界に発信する「カンナ・プロジェクト」の橘凛保さんが5月25日（金）、本校のカンナを「東京オリンピック・パラリンピックに咲かせるカンナ」として世界に発信できるものとする「認定書」を届けに来校されました。平和についての学習を深めた後、本校のカンナの株分け、プランターへの移植、グラウンドの掲揚台の後方の法面への地植えの作業を行いました。認定書と交換に本校の株分けしたカンナをお渡しし、その芽を、今回は、滋賀・京都・大阪の関西方面に届けていただきます。平和と復興を勇気付ける花が全国で、世界で咲き、東京オリンピック、パラリンピックの会場を彩ってくれることを願っています。



本校のカンナの株を橘さんに託す生徒

□ 「歓迎光臨！」姉妹校の中国九江市特殊教育学校 危柏云校長他3名来校

昨年11月3日に姉妹校提携を締結した中国九江市特殊教育学校の危柏云校長、周玲副校長、海燕教諭の3名が、5月23日（水）本校の視察に来校されました。9：30から13：30まで、小学部、中学部、高等部の授業を参観されました。教室からは、「ニーハオ!」「シェシェ!」の音が響き渡り、児童生徒も中国からのお客様を歓迎する気持ちを表していました。参観後に「先生方の児童生徒に対する接し方が非常に丁寧で温かい。」「先生主導の授業ではなく、児童生徒の主体的な動きを引き出す授業が素晴らしい。」との感想をいただきました。職業コース2、3年生による交流会では、学校紹介、危校長先生からの中国語の挨拶講座、「さくらよ」「大地讃頌」の合唱披露等を行いました。生徒たちの素晴らしい歌声に感動で涙を浮かべながら一人一人握手をされる姿が印象的でした。木工作業製品のウクレレを始め高等部の作業学習の製品をお土産に大変有意義な交流ができました。これからは無理のない範囲で情報交換や交流を行い、お互いにメリットのある友好的な関係を続けていきたいと考えています。



↑交流会で作業製品のプレゼント渡し  
←玄関前で

□ 中学部第3学年「修学旅行」

中学部第3学年は、5月23日（水）～25日（金）に、神戸方面へ修学旅行に行きました。25名の生徒が参加し、一人の病気・けがも人もなく元気に帰ってきたことを何よりもうれしく思います。心配された天候も活動に支障なく、カワサキワールドでのバイク乗車体験、神戸おとぎの国でのアトラクション、世界に一つだけの巾着袋の絵付け体験、須磨水族館でのイルカショー等を満喫しました。3日間の活動を終え、広島駅に戻って来た生徒のやり切った満足感や自信あふれる表情を見ると、修学旅行の目的である友達と活動を共にし、感動を共有する喜びを味わうことができたのだと確信できました。同行いただいた医師、修学旅行に向けて細心の注意を払ってくださった保護者の皆様に深く感謝申し上げます。



神戸おとぎの国



須磨水族館

○ 御来校いただいた方々（教育相談での見学は除いています。）

日付	団体名等	人数
5月14日（月）	広島女学院大学人間生活学部管理栄養学科学生	4名
5月18日（木）	広島大学大学院教育学研究科 竹林地毅准教授他特別専攻科学生	16名
5月28日（月）	広島大学大学院教育学研究科教職開発専攻 鈴木由美子教授他学生	22名
5月30日（水）	広島県特別支援学校認定資格協議会流通・物流部会	22名